

なぜ、農園 なぜ、森

園長 小島 澄人

全国的に少子化が進み、また受け入れる施設が多様化して、幼稚園への入園が減少している今、幼児教育がより一層の充実が求められています。自然体験、畑の体験、野原で遊び、森の中で戯れる、田んぼでの稲刈り、果樹園での収穫、木の実や野菜等でピザやパン作り、夏野菜・ジャガイモ・サツマイモ・大根を育てる、いろんなことを体験します。なによりも、同年代との遊びや語らい、過ごす、ものすごい育ちにつながります。歌を歌い、踊りに興じ、走ったり寝転がったりと、様々な活動を行います。プールがあり、園外保育、遠足、運動会、発表会、あげたら次から次にと出てきます。人生の中で、最高の体験の時ではないかとも思います。

あちこちから見学に来る幼稚園、保育園の方々がびっくりするのが、農園、森の存在です。幸いにも先祖が残してくれた農園や森です。幼児教育に生かそうと使っています。維持するのが大変ですけど、これからも大いに活用していきたいと思っています。まだまだ園児には開放していませんが、何年か先にはミカン狩りや柿もぎを親子で楽しむ日が来ると思います。森は、柿の実の裏山、柿の実自然探検村、夢の森を取り囲む山、その裏に広がる夢の森自然探検村、苦労して手に入れ、手入れをし、守ってきましたが、今、子どもたちがのびのび遊んでいる姿がまぶしく見えます。坂を登り、坂を下る、木の素晴らしさを感じ、その中で活動しています。幼稚園児が、保育園児がやってきては楽しんで帰っていきます。嬉しくなります。

なぜ、農園。柿の実農園、恩回し農園、三輪農園、寺家農園、小野路農園、小さな可愛い小鳥の森農園、夢の森農園、岡部農園、新百合ヶ丘農園、まだ皆さんには公開されていないが稲城農園、本当にたくさんあります。約5万坪ほどになります。その大半は、小島の所有ですが、子どもたちに使って頂けるだけで幸せです。

柿の実農園、幼稚園の周りに広がっています。畑が6ヶ所、すべてが小島の所有ですが、幼稚園を創めて64年になりますが創立から使い続けているのがうれしいです。幼稚園を始める前は、ゴルフ場にしませんか、とも誘いがあったようですが、断り、幼稚園を始めたようです。先祖の決断に感謝です。

さあ、ジャガイモがよく育っています。あちこちの農園を見て回りましたが、よく育ち、楽しみです。大きな袋に子どもたちが必死で持ち帰ると思いますが、食卓を囲んで家族一緒に、食べるのもいいですね。子どもが自分で掘り、持ち帰る、凄いことです。幼稚園では、園児全員で、「カレー弁当」です。先生と子どもたちが調理した美味しいカレーです。大鍋で煮込んだ本当に美味しいカレーです。